

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.02.07~02.18

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月7日(月)

日産の120万台体制に対応
部品メーカー
日産自動車を主要取引先とする部品メーカーが相次いで中国での供給体制を強化する。カルソニックカンセイは広州の工場を増築。ヨロズは武漢に新工場。中国での生産120万台に対応。(6面)

中国のコンビニ、省エネを支援
三洋電機/売上高4倍120億円

三洋電機は、中国でのコンビニエンスストア向け省エネ支援サービスの2015年度の上高を4倍の120億円に。省エネ性能が高い冷凍機器の導入から運用、消費エネルギー分析を一貫提供。(7面)

HDDメディア生産、中国集約
日立GST/深圳の拠点に
日立グローバルストレージテクノロジーズ(日立GST)は、ハードディスク駆動装置のメディアの生産体制を再構築する。米サン/ゼの本社にある生産機能を深圳市の製造拠点に統合。(8面)

「EITリフォーム」で日本攻略
ソフトロード/中国の開発要員20人増
ソフトロードは、システム更新時に一から作り直さず、作り替えることでユーザーの負担を抑える「EITリフォーム」サービスを強化する。西安の開発要員を約20人増員する。(24面)

2月8日(火)

セーラー万年筆、上海で産口ボ
射出成形品取り出し機/新興国向け
セーラー万年筆は、上海で産業用ロボットの工場を7月稼働する。アジアの新興国向けに開発した5軸フルサーボの横方向型取り出し機。中国販売拠点・写楽精密機械に工場を設ける。(1面)

椿本チエイン、中国に新工場
天津周辺/低価格品を投入
椿本チエインは、5億10億円を投じ、2012年度までに中国に搬送用コンベヤーチェーンの新工場を建設する。天津市周辺を検討。低価格な動力伝達用ローチェーンを投入する。(7面)

2月9日(水)

NEDO、実施者を公募
スマートコミュニティー/中国で実証
NEDOは、エネルギー利用効率の高い都市(スマートコミュニティー)実証事業の、江西省共青城市とハワイでの実施者を公募する。中国は内陸部の中小都市のインフラ整備に役立てる。(2面)

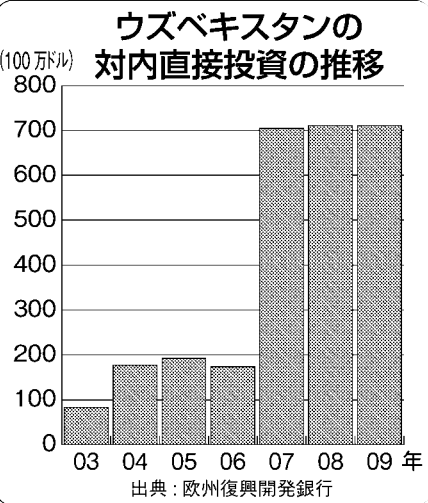
ASIA

2月7日(月)

ウズベクにチャンス
豊富な資源/中央最大の人口
ウズベキスタンは天然資源が豊富で日本の産業界にとっても重要性は増す。中央アジア最大の人口(2780万人)で高い経済成長が期待される。日本企業に、ビジネスチャンスは少なくない。(3面)

2月8日(火)

ウラン精鉱、ウズベクから調達
伊藤忠/資源開発協定の一環
伊藤忠商事は、ウズベキスタンからウラン精鉱を大量に調達する。日本とウズベキスタンが7日に合意した資源開発に関する協定の一環。契約期間は10年。年に数百トン、日本の電力会社向け。(2面)



韓国で医療ツーリズム
オリックス/出資・医療機器リース
オリックスが、韓国で外国人富裕層向け医療ツーリズムの参画を検討している。韓国の仁川空港周辺で、高級ホテルと病院が一体となった施設の建設構想に、出資や医療機器をリース。(3面)

レトルトパウチ包装材増産
東レ/タイで月600トン
東レは、無延伸伸びプロピレンフィルムをタイで増産する。子会社で月400トン



EPCA調印で握手する前原外相(左)とシヤルマ商工相(右)

経常黒字 3年ぶり拡大
2010年/中国・アジア輸出好調
日本の2010年の国際収支(速報)は、経常収支の黒字額が17兆801億円と前年を28.5%上回り、3年ぶりに拡大。中国・アジア向け輸出の持ち直しと、中国などからの旅行客増加が主な要因。(2面)

ヤマハ、中国で生産
グランドピアノ/専用モデル
ヤマハは、2011年度中をめどに、中国工場(杭州市)でグランドピアノの生産を始める。中国専用モデル。現地で販売している同社製グランドピアノで最も安い価格に設定する計画。(3面)

中国・新興国で新車、軒並み増
トヨタ/中国6%増・印7割増
トヨタ自動車は、2011年に米国や、中国をはじめとする新興国で新車の販売を軒並み増やす。米国は前年比8%増の190万台、中国は同6%増の90万台以上、インドは同7割増の13万台。(5面)

シャープ、上海に研究開発会社
日・米・英・中の4極体制
シャープは、上海市に研究開発会社を設立、今春から業務を開始する。環境技術やエネルギー、電子情報通信技術、材料分野。研究開発拠点は日本、米国、英国を合わせた4極体制。(8面)

2月10日(木)
ジェットロ、武漢に新事務所
内陸部に初/日系の進出急増
ジェットロは、中国内陸部の湖北省武漢市に3月25日に新事務所を開設する。内陸部の事務所は初めて。中国7事務所目。ホンダや日産自動車など日系企業の進出が急増。(2面)

大林組、中国から撤退
北米・東南アに集中
大林組は、中国事業から撤退する。上海の現地法人の清算手続きに入った。日系以外の大型プロジェクトが当局の政策で現地ゼネコンに流れる傾向。北米や東南アジアに経営資源を集中。(3面)

の生産能力を同600トンに引き上げる。現地で缶詰の代替で需要が拡大しているレトルトパウチ向けに供給する。(11面)

2月9日(水)

日象化学、タイ2割増強
内装部品/ホンダ向け
日象化学は、2011年秋をめどにタイの生産子会社で自動車用内装部品の生産能力を2割増強する。ホンダが現地生産を始める新型小型車などへの供給能力を高め、新興国事業を強化する。(5面)

クレーン部品の現地調達5割に
コベルコクレーン/インド・中国
コベルコクレーンは、2011年10月にインド工場を、12年8月に中国・成都工場を稼働させる計画。両工場とも建設用クレーン部品の現地調達を5割にする。現地調達網の整備を始めた。(6面)

SEI海外派遣者を育成
NECシステムテクノ/インドで研修
NECシステムテクノロジーは、海外でのSEIを遂行できる日本人管理職を育成する。第1弾はインドの合併会社へ16人を派遣し、ロールプレイング形式の研修を英語で実施。(9面)

2月10日(木)

戦略的協力、共同声明に盛り
首相/ウズベク大統領と会談
菅直人首相は、ウズベキスタンのカリモフ大統領と首脳会談。両国の戦略的パートナーシップ関係をさらに高めることを確認、共同声明に盛り込んだ。また、両国外務省は経済協力で覚書。(2面)

パイオニア、デジカメ部品協業
台湾・亚洲光学/新工場検討
パイオニアは、台湾の亚洲光学グループとブラジルでデジタルカメラや同部品の生産で協業する。現地子会社のパイオニアブラジルを通じ、事業を立ち上げる。新工場の建設も検討する。(3面)

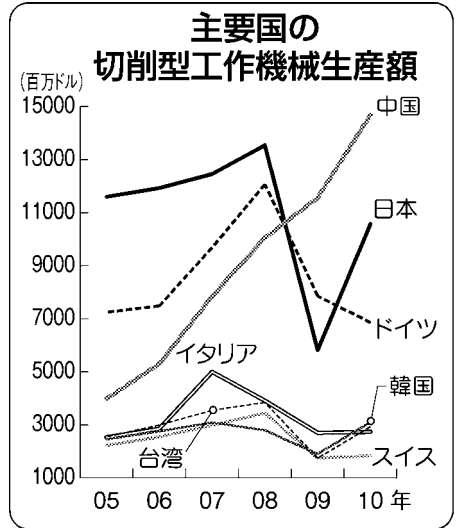
コンテナターミナル、フル稼働
商船三井/ベトナム南部
商船三井は、経営に参画するベトナム南部のコンテナターミナルを今月下旬、フル稼働。地理的特性から、欧米へのコンテナ貨物の輸出拠点や、ベトナム市場への窓口として注目。(14面)

拡販する。印刷業向けだったが、映画館でのフィルム常電防止利用を機に、印刷以外へ拡販。インターネット販売は国内と韓国から中国、台湾にも。(27面)

三菱化学、中・台専門の組織
情報電子本部に新組織
三菱化学は、情報電子本部に中国と台湾専門の新組織を設置する。中国と台湾に現地スタッフを常駐させて、現地企業のニーズに合わせた営業や技術サービスなどを行う。(13面)

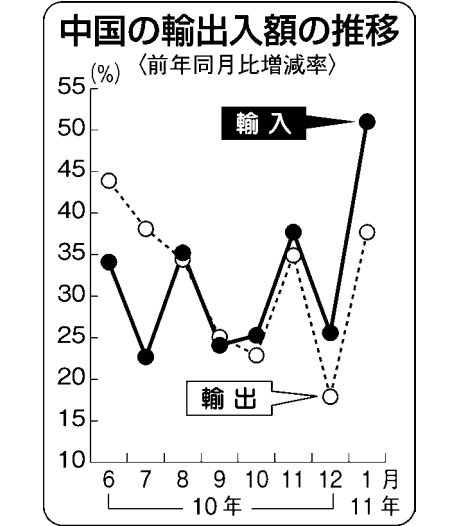
2月16日(水)

工作機械生産 - 中国が連続首位
27.0%増146億8000万ドル/日本は2位
2010年の切削型工作機械生産額(日本工作機械工業会の調査)は、日本が81.6%増の105億8000万ドルで2位に浮上。首位は2年連続で中国。27.0%増の146億8000万ドル。3位はドイツ。(6面)



2月17日(木)

中国の内需の伸び加速
輸入額51%増/存在感さらに大きく
2010年の名目GDPで日本を抜いた中国の内需の伸びが、一段と加速しそうだ。1月の貿易統計で、輸入額が前年同月比51.0%増の大幅な伸び。購買力は強まり、存在感がさらに大きく。(2面)



生産能力の引き上げでOEMにも対応(スズキのマネサール工場)

東南アのインフラ資金を支援
米倉経団連会長
東南アジア歴訪中の日本経団連の米倉弘昌会長は、東南アジアのインフラ拡充に「多額の資金が必要、その調達がポイント」。ODAや民間資金の活用などの枠組みづくりを支援と表明。(時事=2面)

タイ・モンゴルで生産
風力発電装置/A WING
A WINGインターナショナルは、モンゴル、タイで風力発電装置の生産に乗り出す。両国で月間300台前後。発展途上国の無電化地域に照準。将来はそれぞれ月産1万台規模に拡大。(26面)

2月17日(木)

インドとEPA締結
電機製品・車部品の輸出拡大期待
前原誠司外相と来日中のシャルマ・インド商工相は、EPAに署名した。日本のEPAは12件目。今回のEPA締結により、電機製品や自動車部品などの輸出拡大が期待される。(2面)

2月18日(金)
マンション、アジアの投資家に
三井不動産レジデンシャル
三井不動産レジデンシャルは不動産仲

ソニー、中国にTV合併
台湾・鴻海と/世界最大、年産3000万台
ソニーとEMS世界最大手の台湾・鴻海精密工業は、山東省に液晶テレビの合併工場を建設する。中国現地メディアが報じた。生産能力は年3000万台、世界最大級のテレビ工場が誕生する。(3面)

2月18日(金)

対中貿易赤字が縮小
昨年/71%減、36億ドル

2010年の日本の対中貿易赤字額は、前年比71.6%減の36億5619万ドルで、1993年の32億9170万ドル以来17年ぶりの低水準。中国の内需拡大を背景に輸出が拡大。ジェトロまとめ。(2面)

JFE、カラー鋼板生産
蘇州に合併/年24万トン
JFEスチールが、蘇州禾盛新型材料と、年内にカラー鋼板生産の合併会社を設立する。家電および建材製品向け。原板はJFEが供給する。年24万トン。中国内外に高級カラー鋼板を出荷。(12面)

香港に中小10社派遣
埼玉中小公社など4者/販路開拓
埼玉県中小企業振興公社など4者は、中小企業のアジア展開支援で連携する。県内10社を香港に派遣、企業訪問や商談の場を設置。自社技術をプレゼンテーション。販路開拓につなげる。(26面)

TELOP

中国の免疫検査に参入
シスメックス(7日14面)
自動車の代替需要550万台
2015年/需要押し上げ(7日24面)
日本電産、中国で子会社再編
管理部門を効率化(8日3面)
特装車部品、生産品種を拡大
極東開発(8日6面)
広州ターミナル運営に参画
日本郵船(8日17面)
整腸剤「セイロガン糖衣A」販売
大幸薬品、9省に(8日17面)
トランコム、上海に現法
日系にトラック手配(8日17面)
日商、中国に使節団
中小の進出支援(8日25面)
イオンが中国・ASEAN本社
2本社のトップ人事(9日3面)
上海で不動産販売を強化
ジェシーヒア、展示会活用(9日12面)
中国、物価上昇が深刻化
政府、設備投資の抑制も(10日2面)
小型コンプレッサー、中国で製販
三菱重工/技術供与先と(10日6面)
住友電産、半導体材料の新会社
常州/LED産業が集積(11日6面)
丸の内案内サインに新フロント
日本スクリーン(11日6面)
2型糖尿病治療薬、臨床第3相
武田薬品(11日11面)

介3社と、海外での不動産物件紹介で業務提携した。国内マンション販売の強化が狙い。主にアジアの富裕層への不動産販売を積極化する。(1面)

ベトナムに試作工場
南デザイン/家電など
南デザインは、ベトナム・ハノイ市に試作工場を設立する。マシニングセンター12台体制。家電製品などのデザインや動作機構を確認する試作品。日系企業の開発担当部門向け。(1面)

ダイムラー、印でトラック
三菱ふそう/低価格車投入
独ダイムラーは三菱ふそうトラック・バスと、インドに本格参入する。チェンナイ近郊に新工場を建設、新ブランドの低価格トラックを投入。投資総額は今後5年間で7億計。(5面)

油圧機器、ピーク超す勢い
新興国の建機需要けん引
油圧機器大手の今期の業績が建設機械の需要増でリーマン・ショック前の水準に達する勢いだ。川崎重工業やナブテスコは部門売上高が最高を更新。新興国の建機需要がけん引。(7面)

TELOP

資源開発・投資拡大で覚書
経産相とウズベク副首相(8日2面)
第一生命、ベトナムで受賞
現地経済に貢献(8日21面)
エルピーダ、台湾上場に承認
122億9100万円調達(9日3面)
川重、ベトナムで納入
セメントプラント(9日7面)
ウラン・レアメタル開発で提携
資源機構とウズベク(9日10面)
インドで肥料・塩プロ参画
双日、アジア向け(9日12面)
タイ・カシコン銀行と提携
静岡銀行(9日24面)
タイでディーゼル生産
クボタ/農機・建機用(10日7面)
ソウルにゴルフ用品販売会社
S Rスポーツ(10日14面)
韓国・米国、FTA正式署名
近く批准へ(10日=時事)
宮入バルブ、月産1.5倍体制
ベトナム増/LPガス容器用(11日5面)

1月の貿易黒字53%減、64億ドル
輸入51%増で最高(時事=15日2面)
「GDP世界一」2020年代に
エコノミスト予測(15日2面)
中国・ベトナムにコネクター工場
住友電工(15日5面)

日本製鋼所、射出成形機を生産
中国に現法/月産60台(15日6面)
土木鉱山機械の研究開発センター
アトラスコブコ、南京に(15日6面)
キリン、大連子会社売却
ベルギー企業に(15日17面)
レアアース支配に待った
豪当局/中国の買収阻止(16日3面)
中国・新興国の台頭に危機感
日証協会長(16日21面)

豊和工業、工作機械の販社
北京か上海/日系向け(17日8面)
日中の従業員にe教育
北京永福美ソフト(18日9面)
京都銀行が元建て決済
手数料・為替リスク解消(18日17面)
福岡県、江蘇省と環境協定
アジアで環境保全を強化(18日27面)

ひと
技術の普及と啓蒙
「中国ビジネスの拡大には技術の普及と啓蒙が欠かせない」。日本バルカー工業社長の瀧澤利一さんは、配管のものを防ぐシール技術の講習会を毎年開く理由をこう語る。「中国経済の発展に尽力した人物100名」にも選ばれた。「長年の活動が評価され、現地社員にも喜ばしいこと」と感慨深げた。(8日=11面)

いつ止められるか...
「カントリーリスクも考慮しなければ」と打ち明けるのは、KVK社長の末松正幸さん。大連市で20年間、日本向けに水栓金具を生産してきたが、今は生産拠点の分散化を検討中だ。製品は銅などの原料の塊。「いつ原料輸出を突然止められるか...」と懸念する。製販両面で中国戦略に知恵を絞る。(10日=14面)

アルミが意外に少ない
中国の自動車向けアルミ需要は「まだまだ有望な市場だ」と期待するのは日本アルミニウム協会会長で日本軽金属社長の石山喬さん。中国でのモーターショー視察レポートを読んだ感想だ。中国では「電気自動車が元気が良いようだ」と感心。またガソリン車でアルミの採用が少ないことが意外だった。(17日=13面)

インド市場を掘る
コベルコ建機/生産1号機(11日5面)
消防車の部品、ベトナム生産
モリタ/コスト3割減(15日5面)

キリウ、インド月産を倍増
4200トン/10億円投資(15日5面)
トープラ、タイに締結部品工場
完成車メーカー現調対応(15日5面)
安永、韓国に生産子会社
エンジン部品、韓国企業向け(15日5面)
リケン、インド45%増強
ビストリング第2工場(15日5面)

東海東京FHD、インド社と提携
研修生、相互に受け入れ(15日19面)
韓国・中国で高付加価値文具
レイメイ藤井(15日22面)
日韓EPA、交渉再開に意欲
前原外相(16日2面)

シンガポールで排水再利用実証
日東電工とラレ(16日14面)
タカラバイオ印に合併
研究用試薬を製販(16日15面)
ハノイ バンコク、最短2日半
郵船ロジ、陸送(16日15面)

金子産業、ベトナム進出
電磁弁/韓・露で認証(16日26面)
経済界は歓迎-日印EPA
経団連会長「意義ある」(17日2面)
トクヤマ、シリコン工場起工式
マレーシア/年6200トン(17日13面)

アジア 米国コンテナ貨物13%増
11月、111万6000TEU(17日15面)
ウズベキスタン国営銀行と提携
三菱東京UFJ銀・三井住友銀(17日17面)
アジアの取引所と連携に意欲
NY・独取引所合弁(時事=17日17面)

ひと
インドは非常事態宣言
「2020年にはインドが中国を抜き、世界最大の2輪車市場になる」と断言するのはホンダ専務の大山龍寛さん。今後10年間で年3000万台に膨らむ見通し。「3000万台を前提にしたなら、何個工場をつくらないといけないのか」と苦しい。「すべてが足りない。インドは常に非常事態宣言」と引き締める。(9日=5面)